

桜まつりに思う

市長 明智忠直



例年になく早い桜の開花。旭市も10日ほど早く満開を迎えた中、4月1日から袋公園の桜まつりを開催致しました。前年度の早い時期に決定するイベントを盛り上げるためには、さまざまな準備が必要です。観光大使の椎名佐千子さん、桂竹千代さんをはじめ、ミスあさひ、野だてのかがたなど、多くの出演者や出展者の皆さまに、ご協力をいただかなかればなりません。旭市の誇る三大祭りの一つである桜まつりを、市としても最大限PR・発信していかねればならないと考えており、どうしても早い時期にイベントの開催日を決定しなければなりません。実行委員会、地区の美化推進協議会の皆さまには、天候や桜の開花など、多くの心労を掛けてしまっているところで、改めて感謝申し上げる次第です。

一週間早く満開の時期を迎えた3月31日の土曜日と、4月1日の日曜日は、家族連れや大勢の団体の皆さまが宴を催したり、遊歩道の桜を見ながら写真撮影をしたりと、袋公園のにぎわいも最高潮でありました。桜の華やかさ、あでやかさ、美しさを十分満喫した桜まつりであったと思います。ただ残念なのは7日のイベント当日と、桜の満開が重ならなかったことで、少し盛り上がりを感じてしまった感がありました。

イベント当日の天候は一週間前の予報では、かなり悪い状況でした。荒天で中止になれば観光大使二人の出演はなくなり、演芸や出展の皆さまも少なくなってしまうと思います。ただが関係者の皆さんの頭の痛いところであったと思いますが、予報に反して早く天候が回復してくれました。予定通り開催できたことに、役員の皆さまの苦勞が報われたと、心から安堵したところがあります。

とにかく野外のイベントは天候との戦いであり、晴れることを祈りながらの桜まつりでありました。

市図書館だより

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後6時
土・日曜日…午前9時～午後5時
今月の休館日／1日(火)、3日(木・祝)～5日(土・祝)、17日(木)、毎週月曜日
厩市図書館(☎62-2560) <http://www.library-asahi-chiba.jp/>

今月のおすすめ

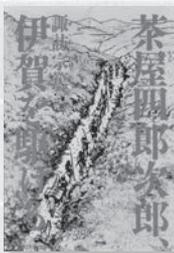
「奏弾室」



仁木英之 著
(徳間書店)

苦い経験からピアノをやめた佑介は、迷い込んだ音楽教室で美しい女性に出会う。やがて佑介の周りで奇妙なことが起こり始める。

「茶屋四郎次郎、伊賀を駆ける」



諏訪宗篤 著
(朝日新聞出版)

家康に本能寺の変を報せ、道案内を申し出た商人の四郎次郎は、山越えの中で信念を取り戻していく。第9回朝日時代小説大賞受賞作。

新着図書

- 鎖国前夜ラプソディ(上垣外憲一) (伊吹有喜)
- 祈りの旅 (朝日新聞社会部) (植松三十里)
- くらべる世界 (おかべたかし) (奥泉光)
- ことわざのタマゴ (時田昌瑞) (垣谷美雨)
- きのこレシピ (石澤清美) (私はあなたの記憶のなかに)
- 港の日本史 (吉田秀樹) (角田光代)
- 毎日、続ける (室井摩耶子) (郷里)
- 童謡の百年 (井手口彰典) (いのちがけ)
- 雲上雲下 (朝井まかて) (額を紡ぐひと)
- 長く高い壁 (浅田次郎) (樽とタタン)
- 伴走者 (浅生鴨) (おまじない)
- 本のエンドロール (安藤祐介) (スイート・ホーム)
- 地検のS (伊兼源太郎) (奥羽関ヶ原)
- イザベルに薔薇を (伊集院静) (刑事の血筋)

おはなしの時間

幼児向きの絵本の読み聞かせ

日時／5月10日(木)、24日(木)
午後4時30分～5時
場所／市民会館